

# ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん  
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

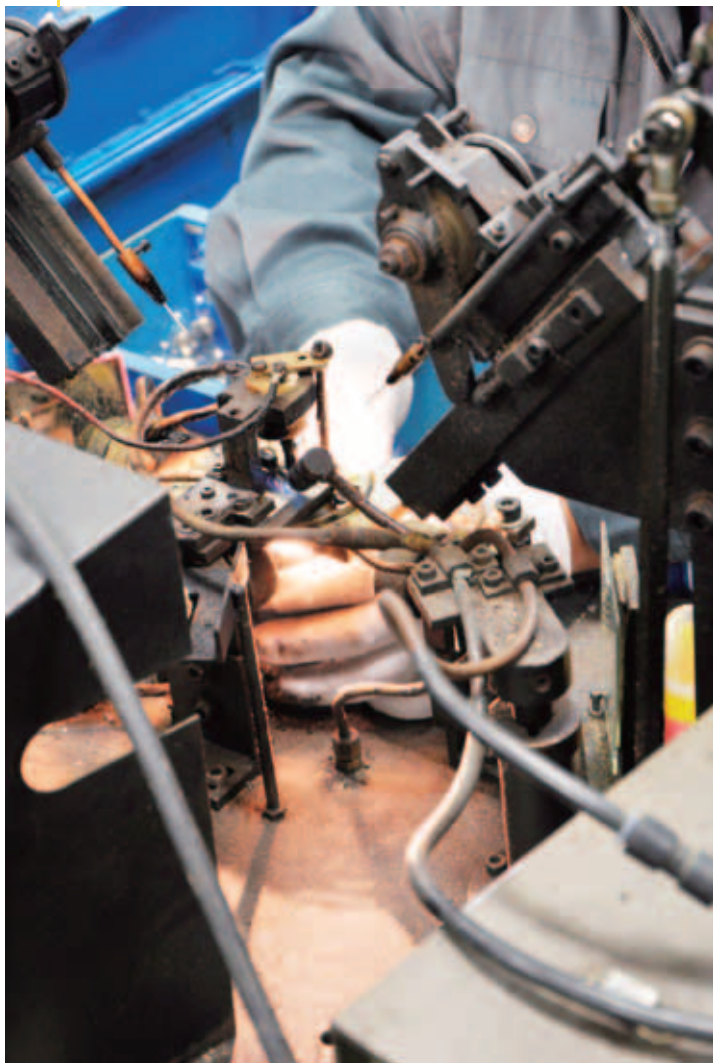
- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 年頭挨拶(会長・知事)
- P4 青年部・女性部日より
- P6 いわき市・小名浜さんかく倉庫  
「福島の美味しいもの 食のフェア」  
安全な「ふくしま」の食を発信!!
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会日より
- P12 掲示板

低線量地域向けの除染サービスを始めたムラマツ電気工業(株) きれい屋チームいわき・椎名秀和さんを訪ねました。

## ヒストリーインタビュー

まちとこころをキレイに!! 低線量向け除染事業  
いわき市・ムラマツ電気工業株式会社

2013.1.1  
Vol.359



23年9月11日(日曜日)  
高圧洗浄機の水流で校舎の壁面を洗浄するボランティアの男性



### 高野小・内郷三中で除染作業

**校舎壁面洗い流す**  
いわき 地元企業がボランティア

いわき市内郷高野町の高野小・内郷三中で10日、地元のボランティアによる除染作業が行われ、高圧洗浄機を使い校舎の壁面などを洗い流した。

作業を行ったのは、同市に本社を構える地元企業「ムラマツ電気工業株式会社」(代表取締役社長 椎名秀和)の社員らで、東日本大震災の影響で工事の進捗が遅れたことから、8月に設立された「いわき市校舎除染ボランティア」の一環として、4月18日(日)に校舎の壁面を洗い流した。

高野小・内郷三中では、初めから壁面の洗浄が大きな課題となっており、高野小の除染作業は、比較的早い段階から進められていた。高野小の除染作業は、比較的早い段階から進められていた。高野小の除染作業は、比較的早い段階から進められていた。





# まちとところをキレイに!! 低線量地域での除染事業



低線量地域向けの除染サービスを始めたムラマツ電気工業(株) きれい屋チームいわき・椎名秀和さんを訪ねました。

## 御社を取り巻く経営環境を教えてください。

弊社は自動車用電球製造事業所として昭和五十五年に創業し、今年で社歴三十四年になります。

新聞テレビの報道で、シャープ・パナソニックさんの経営状況を皆様ご存知と思いますが、円高、欧州危機、新興国の追い上げにより、日本の輸外型製造業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。自動車関連産業に属する弊社も同じく、グローバル的外部要因がリアルタイムで経営に影響するため、需要ギャップを埋めるのに苦労している状況にございます。

## 低線量地域向けの除染サービスを何故始めたのですか？

もともと震災以前から展開を予定していた「環境型高圧洗浄事業」が始まりました。

極端な需要変動に対応しスタッフの雇用を守るため、自動車用電球製造事業以外に新たな事業の柱をつくる必要があり、自社の経営資源とノウハウから、重曹を使った環境にやさしい高圧洗浄事業の展開を計画しておりました。

既に設備投資も完了していましたが、震災により新規事業の予定はすべて白紙。本業も風評被害・円高により、その時は全く先が見

通せぬ状況でありました。

黙っていても状況は変わらないため、まずは行動をと津波被災地での洗浄ボランティアを開始しました。暫くすると、放射能除染に高圧洗浄が有効だとの噂が流れ、小学校で洗浄ボランティアも始めました。いわき市は県内他地区と比較しても低線量地域でしたが、小学校での洗浄ボランティアは、子どもの健康を危惧する父兄、先生に大変喜ばれました。奇しくもその頃、娘に初孫が生まれ、未来ある子どもたちが、安心して暮らせる環境づくりが絶対必要と思いい、低線量地域での除染事業を展開する事を決心し、今に至っている次第です。

事業の方向性が決まってきたら、毎日、除染方法について研究しました。行政、ゼネコン、資材メーカーの実証実験にも参加しながら、一般家庭の除染ボランティアを何度も行いました。ホームページを開くと色々な方々から支援の申し出を頂きました。

試行を重ねると効果がある工法、汚水処理など必要となる事後工法、スタッフの健康管理など色々見えてきました。また依頼を受けたお客様へ、除染結果を分かりやすく伝えるツールが必要と考え、こちらも早速作成し提供しております。

## 今後の展開について教えてください。

弊社のサービスをご理解頂き、口コミ・ホームページから少しずつですが、県内外から引合いは増えています。新事業は先が読めない状況がまだまだ続いており、正直本音は心配です。

弊社の経営理念は、「親切・丁寧・奉仕の精神を決して忘れず、誠実に業務を遂行し、お客様へ高品質のサービスを提供いたします。」です。お客様の立場に立ったサービスを常に考え、研究を重ねることにより、日々のサービスを改善提供することが大切であると考えております。

多くの方々のご支援や、長年取引している自動車用電球メーカー様のご理解で、低線量地域向けの除染サービスを事業化することが出来ました。

前に進めば道は必ず開くと雲外蒼天を信じ、社員チームワークで満足頂けるサービス提供を考えっておりますので、ムラマツ電気工業(株)を今後も宜しく願ひ致します。

## ムラマツ電気(株)さんを訪問して。

ご利用頂いたお客様からの評価は高く、多くの感謝レターやメール



### 企業概要

企業名 ムラマツ電気工業株式会社  
 代表者名 椎名秀和  
 住所 973-8406 福島県いわき市内郷高野町山崎20番地  
 TEL 0246-45-2911(きれい屋チームいわき 専用回線)  
 TEL/FAX 0246-27-6614 / 0246-27-6611  
 URL http://www.kireiya-iwaki.com/



が、ムラマツ電気株さんに届いています。製造業故の「品質」「コスト」「納期」意識や、「カイゼン活動」が短期間でサービスを昇華出来た要因である考えます。

またムラマツ電気株 椎名代表は、同業友人達の勧めで経営革新計画の作成にも取り組んでおり、計画を作ることで事業の方向性がハッキリと見え、計画承認を受けたことで意識が俄然変わったとも話されておりました。

新規事業をお考えの経営者皆様は、経営革新計画にトライして見れば如何か。

## 「復興・再生への更なる活性化を目指して」

福島県商工会連合会 会長 轡田 倉治



平成二十五年度の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、我が国経

済全般を見ると、長引くデフレや円高、先行きが極めて不透明な世界景気の影響を受け、景気が減速感を強めるなか、特に、地方の中小・小規模企業にとつては、大手製造業の工場閉鎖や生産拠点の海外移転による産業空洞化の進展、中小企業金融円滑化法終了の影響による資金繰りの悪化懸念などにより、先の見えない状況であり、本県においては特に、原発事故による諸問題が山積し、その被害は収まるどころか、今なお拡大・長期化しており、厳しい状況が続いております。

こうした中、当連合会としては国及び県に対し風評被害払拭のための事業予算の確保をはじめとし、中小・小規模企業支援関連事業等に対する要望活動を行い、さらに東京電力に対して、原発事故による間接被害、風評被害の影響による賠償をはじめ、中小・小規模事業者の生活、事業の再建を完全に果たすことができる十分な賠償を確実にかつ迅速に

行うことを強く要求してまいりました。

また、商工会としても、深刻な風評被害の払拭に向けて、加工食品の放射能検査機器の導入や「食フェア」等を開催し、県産品の販売・PRを推進し、「食」の安全を確保する事業等に積極的に取り組んできたところであります。

県内産業に活力を取り戻し、地域のコミュニティ機能を再生し、雇用や地域の暮らしに安定をもたらすことは、商工会の大きな役割であります。

今後は、震災・原発災害からの復興とともに、広域連携体制の更なる強化により、中小・小規模事業者への支援を強化し、会員事業所の経営力向上を図り、会員数の減少、組織率の低下などの課題解決に対応し、組織及び事業改革を進め、組織強化を図るよう取り組んで参る所存であります。

八十九商工会と県連が一丸となって一致団結し、この困難を乗り越えて参りたいと思いますので、会員皆様方より「層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。新年にあたり、商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年一年、明るい年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

## 「『新生ふくしま』をめざして」

福島県知事 佐藤 雄平



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。東日本大震災からまもなく一年十か月を迎えます。

本県は、十五万人余の方が県内外で避難生活を余儀なくされるなど、依然として厳しい状況が続いており、多くの方々が今年もふるさとで新年を迎えられないことは本当に残念でなりません。一日も早く全ての県民が安心して暮らせる環境を取り戻さなくてはならないと決意を新たにしております。

昨年は、厳しい状況の中でも、「ふくしまから はじめよう。」を合言葉に、復興への第一歩を踏み出し、県民の皆さんのためまぬ御努力、国内外からお寄せいただいた多くの御支援により、本県は着実に元気を取り戻し、明るい話題も増えてまいりました。本年は、この歩みをさらに加速させてまいりたいと考えております。

県では、震災からの復興を果たした三十年後の姿を展望した県総合計画「ふくしま新生プラン」を策定しました。基本目標は、「夢・希望・笑顔に満ちた『新生ふくしま』。若い世代が将来に夢や希望を持って生き生きと活躍できる社会、

安全・安心で原子力に依存しない持続的発展が可能な社会を目指してまいります。その実現に向け、除染、健康管理、防災対策の充実などを進め、県民生活の安全・安心をしっかりと確保してまいります。

また、地域経済を震災前の水準に戻し、更なる発展を期して、農林水産業や既存企業の再生はもちろん、再生可能エネルギーや医療機器関連など時代をリードする産業の集積を進めてまいりたいと考えております。

さらに、大河ドラマ「八重の桜」の放送に合わせ、会津を始め県内全域で観光を盛り上げ、改めて本県の魅力を広く発信してまいります。

さまざまな場面で、「人のため、ふるさとのために尽くしたい」「夢を持って未来に進みたい」、そうした子どもたちの声を聞くたびに、美しく豊かな県土を取り戻し、次の世代に引き継いでいかなければならないとの思いを強くしております。多くの方への感謝とふるさとへの誇りを胸に、子どもたちの笑顔あふれる明るく元気な「新生ふくしま」を目指し、復興に全力で取り組んでまいりたいことをお誓いし、年頭の御挨拶といたします。



## 掴んだ切符は全国大会行き！ — 押田洋平さん(矢祭町)最優秀賞に輝く —

平成24年10月17日、岩手県盛岡市「盛岡グランドホテル」において、第19回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに主張発表東北・北海道ブロック大会が開催されました。

主張発表福島県代表は、押田洋平さん(矢祭町商工会青年部)。応援に駆け付けた多くの県内青年部員も息を飲んで見守る中、押田さんが見事最優秀賞に輝き、全国大会への切符を掴み取りました。

恒例となっている応援合戦では、松本伸一青年部長を中心に、まるで地元のお祭り「天王祭」さながら、壮大な太鼓の演奏に併せ力強いエールが送られました。

発表は「青年部活動と地域振興・まちづくり」と題し、植樹活動(フードマイレージ事業)を通じて地域住民の環境に対する意識変化を芽生えさせ、青年部と地域住民のコラボレーションによる「間伐材活用プロジェクト」を立ち上げるまでの活動を、地域社会は「人」のつながりから成り立っているという視点から、押田さん自身の青年部経験と熱い気持ちを交えながら発表されていました。

受賞後、「支えてくれる青年部員(仲間)のおかげ」と話す押田さんは、来年2月6、7日に徳島県において開催される全国大会に出場されます。



ふるさとの祭り2012の開催に合わせ、10月28日(日)には、「商工会うまいもんNo.1決定戦」が同会場でおこなわれました。商工会地区を代表する13の「うまいもん」が会津総合運動公園に集結。

激闘の末、西会津町商工会の「西会津みそラーメン」が見事優勝を飾りました。

### 【商工会うまいもんNo.1 結果】

- |     |             |                |
|-----|-------------|----------------|
| 優勝  | 西会津町商工会青年部  | 「西会津みそラーメン」    |
| 準優勝 | 会津美里町商工会青年部 | 「ライスコロツケ・やきとり」 |
| 第3位 | 南会津町商工会青年部  | 「田島名物 ぶったまげどん」 |



西会津町商工会青年部



会津美里町商工会青年部



南会津町商工会青年部

## 全国大会 -笑顔でつなぐ 京の絆・今日の絆-

商工会女性部全国大会が、平成24年10月16日に京都府「国立京都国際会館」において約2,600名(福島県参加57名)が参加し盛大に開催されました。

主張発表大会の内容は、今、ゆるキャラで話題になっているご当地キャラクターを利用して町の活性化を図った事業であったり、また定期的な市場の開催から始まった事業がやがて空き店舗を利用し、最終的にはお店をオープンさせるまでになり、人通りも疎らな商店街に活気を取り戻していると言った内容等でありました。

どの発表内容も女性部の地道な活動が次第に大きくなり地域を変え、またその結果、女性部活動にも“輪”ができ、明るさと活気をもたらしていると言ったすばらしい発表でした。今年も発表者のレベルが高く、審査員の方々も審査に大変苦労したとのコメントもありました。

その他には、服飾評論家の市田ひろみ氏による「“のれん”を守って生きてきた京の底力」と題した基調講演が行われました。



## 青年部女性部合同事業

### ようこそふくしま “ふるさとの絆2012” in あいづの開催

10月27日(土)28日(日)の2日間、会津若松市の会津総合運動公園で福島県が主催する「地域伝統芸能 ふるさとの祭り2012」において、風評被害の払拭のため物販・飲食ブースへの出展を行いました。最終日には、「商工会うまいもんNo.1決定戦」をはじめ、ファイナーレとして商工会ステージイベントを実施し、霊山太鼓保存会による迫力満点の演奏をはじめ、お楽しみ抽選会等により会場は大盛況となりました。





# の食のフェア」

にて開催



▲出展者の逸品でシェフがつくる簡単クッキング“らいぶdeキッチン”

▲屋外に設けられたご当地郷土グルメフードコート



# 「福島的美味しいも

11月10日(土)～11日(日) いわき市・小名浜さんかく倉庫は

## 安全な“ふくしま”の食を発信!!

今、日本でいちばん安全に気を使っているのは、福島産の食品です。

いくら客観的な検査結果をしめして「福島の商品は安全です」と声高に叫んでみても、どうしても信じてくれない人もいます。でも考えてみてほしいのです。

万が一、私たち福島の手作り手が少しでも危険な食品を提供してしまったとしたら…。私たちはもう二度と信用してもらえないでしょう。

だから念には念を入れて安全検査をするのです。どこよりも厳しく。徹底的に。

「福島の“美味しいもの”を味わって欲しい」  
そのような想いの中、やる気満々の47事業所が集まりました。

開催期間中、「面白そうなイベントだね」と立ち寄ってくれたお客様、そして沢山の方々にご支援頂き、千客万来、大盛況にて開催することができました。

皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も“ふくしま復興事業”を宜しくお願い致します。



▲オープニングセレモニー 主催者テープカット



▲みちのくボンガーズによる出展者インタビュー

広域指導センターだより

# ズムアツフ。

元気印

県内4地域の広域指導センターから、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。  
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。  
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

## 県北

福島県商工会連合会

「桑折町から全国へ  
～革の魅力に思いをこめて～」



株式会社 鞆工作社 いたがき  
代表取締役 板垣 泰一氏

〒969-1651  
福島県伊達郡桑折町万正寺字宮ノ西1-3  
TEL 024-582-5223  
FAX 024-582-1019  
http://www.kk-itagaki.co.jp

### ■製品の先にあるお客様の顔を思いながら…

弊社の製品づくりはすべて手作業で、まずはデザインをもとに図面を書いて型紙をおこし、革を裁断した後、一つ一つパーツをマシンで組み立てていきます。革の模様は型押しではない為、組み合わせた時に出る表情が一つ一つ違い、同じものが二つとありません。

またお買い上げ頂いた商品に名前を焼印出来るので、世界に一つだけのオリジナルになります。

手作りの為たくさん数を作ることはできませんが、その分、職人が一つ一つに丹精を込めて作り上げています。

全国で販売しているので、震災後は少なからず「ふくしま」ということで敬遠されることもありました。しかしそれ以上に私たちを応援して下さい、「頑張つてね」と声をかけて頂き、品物を買って行って下さった方々の心意気に感謝しています。

人とのつながり、暖かみを大切にしながら皆様に喜んでいただける製品を作り続けていきたいと思っています。



### ■震災被害に負けない事業展開(指導員コメント)

震災後の風評被害を受けながらも物づくりの精神から、積極的な事業展開を行っている企業です。

商工会と関係性を密にし、制度情報などを積極的に取り入れ、時には、商工会へ情報を提供いただき、その情報を会員事業所へフィードバックするなど、町の復興、町商工業者の活力回復への取り組みも行っています。

厳しい状況下ながら、空き店舗活用補助制度を活用し、新店舗での出店を計画。震災後に4名の新規雇用を行うなど、まさしく桑折町から全国へ向けて想いのこもった製品と元気を発信している会社です。

## 県中・県南

中通り広域指導センター

「中小企業支援ネットワーク  
強化事業を活用して」



有賀醸造合資会社  
代表社員 有賀 義裕氏

〒961-0303  
福島県白河市東釜子字本町96  
TEL 0248-34-2323

### ■支援事例

同社は1774年創業の老舗醸造会社です。所在地の旧東村釜子地区は江戸時代越後高田藩の飛び地で、藩からの進めにより酒造業を開始した経緯があり、現代表は10代当主です。後継者(長男・二男)の帰郷に伴い、事業の方向性を共有するため、中小企業支援ネットワーク強化事業を活用し経営計画の策定支援をしています。

具体的には、現状把握から始め課題抽出、課題解決の方向性及び販路開拓・マーケティング調査を実施しました。これから計画書への落とし込み作業を予定しています。

これら支援を通じ、次世代を担う若手経営者の頭の中に描いている事業への夢や会社の将来のありたい姿を引き出し具体的な形にまとめたと考えております。また、中小企業ネットワーク強化事業へ職員(経営指導員・補助員)が積極的に参加することで、スキルUPにも繋げています。個店の発展が地域の復興へ結びつき取り組みをしていきたいと思ひます。

### ■事業所コメント

私どもの会社では日本酒製造とともに、完全

国産の和マッコリの製造を行っています。生のお酒で、その低いアルコール度数と酵母が生み出す天然炭酸によって、スッキリとした喉ごしが楽しめる商品です。このマッコリの新規販路開拓、マーケティング調査といった点で、ひがし商工会の青柳経営指導員をはじめ、非常に重要な支援をしていただいております。



### 種類:低濃度活性酒

アルコール度数8%のお酒で、自然の炭酸が含まれています。瓶の中でも発酵が続いている大変珍しいお酒です。



# 会津

会津広域指導センター

## 「磐梯名水サーモンを地域ブランドに」



有限会社 四季食産  
代表取締役 坂本 一益氏

〒969-3302  
耶麻郡磐梯町更科字内山6840-104  
TEL 0242-73-2706  
FAX 0242-73-3780  
E-mail skmo@cocoa.ocn.ne.jp

### ■磐梯山の清水で育てたサーモン

当社は磐梯山の西山麓にあり、清らかな冷湧水を利用して内水面養殖業を営んでいます。



主力商品の「磐梯名水サーモン」は良質な水で時間をかけて蓄養しており、きめ細かい上品な脂の旨味が凝縮された高貴な味わいが自慢です。

### ■「福島の美味しいもの食のフェア」出展

東日本大震災と原発事故の風評被害は当社にも及び、同時に行っていた椎茸栽培は一時中止を余儀なくされました。そんな折、磐梯町商工会の渡部晋指導員から声がかかり、今年11月開催の「福島の美味しいもの食のフェア」に出展することになりました。出展に際しては、広域連携の指導員による集団支援の中で、デザインの専門



家にラベルと販促物の作成支援を受け、一般消費者向けの販売体制を整えました。フェアでは試食が販売までなかなか結びつかなかった面もありましたが、消費者の反応を直接確認する良い機会だったと思います。



### ■磐梯町の産品として

今後はイベント販売の一次的なものではなく、道の駅などの拠点で継続的に販売する体制を確立したいと思います。そして、将来には自社製品というよりも町のブランド品として認知されるような商品に育てていきたいと考えています。そのためには、志を同じくするメンバーと団体・法人を立ち上げて地域ブランド活動を行うことも検討している最中です。

# 浜通り

浜通り広域指導センター

## 「避難から事業再開し交流の場を提供」



お食事処だるま  
代表 大和田 正博氏

〒963-3521  
福島県田村郡小野町大字飯豊字五反田57-1  
おのタウン・コムコム内  
TEL/FAX 0247-72-4412  
営業時間 11:00~20:00  
定休日 木曜日

### ■相談したい商工会

避難先から事業再開に向けて動き出していた平成23年7月頃、商工会に相談したところ、小野町のショッピングセンターにある空き店舗での事業再開を提案されました。

新天地での再開に不安と迷いがありましたが、齋藤徹経営指導員から補助金や資金繰りの支援制度を紹介され活用できたことで、一歩を踏み出すことができました。申請書の作成にあたっては、複雑な内容を説明していただき非常に助かりました。また、東京電力(株)の賠償相談や決算申告に係る記帳相談等、日々の業務についても相談しています。

これからも、商工会が身近で頼れる経営相談の窓口として機能してくれることを願っています。

### ■各種制度活用で事業再開を支援

ナラハ仕出しセンターだるまは楢葉町で役

場や介護施設等を中心に仕出しをしていた事業者です。原子力発電所事故により避難を余儀なくされ、事業休止に追い込まれました。平成23年8月、小野町のショッピングセンター区画内の店舗を借り上げ、「お食事処だるま」として再開しました。築地直送のまぐろをはじめ、新鮮な魚類の定食を提供しています。



事業再開において、特定地域中小企業特別資金や中小企業復旧復興支援事業等の各種制度を活用しました。制度内容の説明や担当主管部署との連絡調整、書類の作成等、申請にあたり支援させていただきました。

最近はおいしい魚料理が食べられる店として小野町の住民の方々からも認知され、週末は宴会で賑わっており忙しい日々が続いています。また、楢葉町から避難した方々が一堂に会することができる場所として、地域コミュニティ再生の一翼を担っています。

# Information

## 商工会だより

# びゃっこいとバス専用路線のある街

## 表郷商工会



表郷商工会長の緑川 武です。表郷には以前の白河市白河駅と棚倉町警城棚倉駅を結んでいた国鉄白棚線を引き継いだ自動車路線JRバス白棚線が通り、これは「日本で唯一」の専用バス路線です。今では白河と棚倉、二つの城下町を結ぶ地域の重要な生活路線です。

このバスからは四季折々の原風景を眺めることができ、移動手段だけではなく車内から眺める風景を目的に乗車される方もいます。

それから福島県指定天然記念物の「びゃっこい」が自生している地域でもあります。

びゃっこいとは水の綺麗な場所にしか自生しないとされるカヤツリ草科に属する水生植物で、起源は遙か遠く氷河期時代といわれ、こちらも「日本で唯一」表郷でしか自生していないといわれています。

表郷地区の地形や澄んだ水が生み出した、まさに奇跡が今なお生命をつ

ないでいます。

受け継がれてきた自然を守つていこうと商工会と地域のボランティアネットワークで連携し、環境整備や清掃活動などの美化運動も行っております。

日本唯一の専用路線バスに日本唯一のびゃっこいがあるところ。また、天狗山、関山、大池、鶴子山公園、庄司戻しの桜といった自然の名所も数多くあります。ぜひ表郷を訪れてみてはいかがでしょうか。

当地区は平成十七年に一市三村(白河市、旧大信村、旧東村、旧表郷村)で合併し、白河市表郷となっておりますが、広域の商工会や関係機関との繋がりを大切に、表郷地区の個性を活かしながら地域活性化の一翼を担っていきたくと考えております。

### びゃっこいの里ファミリーウォーク

商工会青年部が立ち上げた「びゃっこいの里ファミリーウォーク」は今年で十回目を迎え、本年度の開催は、日本一遅い山開きと言われる天狗山の登山と



びゃっこい



ふるさと白河表郷まつり



### ふるさと白河表郷まつり

白河市・JA・商工会で共催のふるさと白河表郷まつりは震災後も途絶えることなく本年度で十七回目を迎え、表



びゃっこいファミリーウォーク

同日開催にて多くの方が参加しました。天狗山登山とまちなかウォークラリーのどちらかを選択してもらい、自然を体感して歩く。ゴールの天狗山球場ではレトロバス体験乗車やお楽しみ抽選会。参加者には豚汁や記念品を贈呈しています。

同日開催にて多くの方が参加しました。天狗山登山とまちなかウォークラリーのどちらかを選択してもらい、自然を体感して歩く。ゴールの天狗山球場ではレトロバス体験乗車やお楽しみ抽選会。参加者には豚汁や記念品を贈呈しています。

### 被災者から復興者へ

東日本大震災の県内各所の被害を見ると、表郷地区は決して甚大であったとは言えないかもしれませんが、原発事故の影響を見ると農業と兼業の会員も多く、本業と農業の二重の風評被害を被っている現状もあり、商工会としても各支援メニューや賠償請求を復興のステップとなるよう活用を促しております。

震災により、以前からの地域の課題(少子高齢化、後継者不足、人口流失等)が加速したことは間違いありません。しかし、ここでもう一度「地域」を見つめ直すきっかけとして表郷の「未来づくり」をがんばつていこうと考えております。



清掃活動



# Information

商工会だより

## プレミアム商品券発行と軽トラ朝市で 復興・風評被害対策に取り組み 会津坂下町商工会



会津坂下町商工会長の原幸二です。

会津坂下町は福島県の西北にある会津盆地の西部に位置しています。東部平坦地は豊富な水資源と肥沃な土地で形成され、会津盆地穀倉地帯の一部となっており、西部の丘陵地の大半は森林で占められております。また、古代遺跡や重要文化財が多く点在し、古くから文化の栄えていた地域でもあります。

近年は少子高齢化、担い手不足等の波がわが町にも押し寄せ、基幹産業である農業更には商業にも影響が出てきており、中心市街地においては、シャッター通りが顕著となつてきております。更に、追い打ちをかけるように昨年発生した東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故による放射能、そして経験

したことのない風評被害は未だに地域経済に影響をもたらししています。このような状況の中、本年度、復興・風評被害支援事業として「プレミアムばんげぼんげ商品券」の発行、中心市街地において「ばんげ街なか軽トラ朝市」を実施するなど、商店街に賑わいを創出し市街

地の活性化を取り戻す事業を展開しているところであります。

### ばんげぼんげ商品券

町内の消費刺激策の一環として平成十八年度からプレミアム付き商品券発行事業に取り組んでいます。当初は発行額二千万円でプレミアムも五パーセントだったものが、昨年から会津坂下町の支援のもと復興・風評被害支援「がんばろう!! ばんげぼんげ商品券」と銘打ち、本年度は発行額五千万円プレミアム二〇パーセントに規模を拡大しています。町内の小売店はもちろん、飲食店や理美容店、タクシー、建築工事など幅広く利用できるとあつてお客様にもご好評をいただき、町に消費と元氣を取り戻せたものと考えています。



### ばんげ街なか軽トラ朝市

町の農・商・工業者の連携とお年寄り



や団塊の世代に活躍の場を提供し「人・物・事」の交流を図るため、新たな試みによる「街なか市」を開催して賑わいを創出しようと「ばんげ街なか軽トラ朝市」を実施しました。平成二十四年度は、風評被害の払しょくと震災復興支援のため実験的事業として、十月二十一日(日)、十一月十八日(日)の二回開催しました。ライブアン通り仲町地区の県道約二五〇メートルを歩行者天国にし、野菜や果物、植木、焼きたてパン、加工品や工芸品、お米や味噌といった幅広いお買い得品が満載の軽トララック二十七台が出店。二回合わせて三千人を超えるお客様が買い物を楽しみました。また、青年部と女性部の協力により、地元食材の立川牛蒡をたつ

ぱり使った「とん汁」が大釜で調理、プレゼントされ大好評となりました。

「生産者と消費者のつながりを深くする」ということが実践でき、さらに魅力ある「市」になつていけば良いと願っています。

今年度は「復興元年」と言われております。坂下町商工会においても、地域再生に向けた「復興元年」と位置づけ、地区内商工業者の課題解決と地域コミュニティの再生・復興に向け、会員皆様と更なる連携を図りながら新たな一歩を踏み出していきます。そして、商工会組織の一層の強化に努め、会員事業者へのきめ細かな相談・支援活動を強化し、地区内商工業の発展に努めて参ります。

今年度は「復興元年」と言われております。坂下町商工会においても、地域再生に向けた「復興元年」と位置づけ、地区内商工業者の課題解決と地域コミュニティの再生・復興に向け、会員皆様と更なる連携を図りながら新たな一歩を踏み出していきます。そして、商工会組織の一層の強化に努め、会員事業者へのきめ細かな相談・支援活動を強化し、地区内商工業の発展に努めて参ります。



# 福島県専門家活用経営支援(エキスパート)事業 をご活用ください

中小企業者等の課題解決のために専門家を派遣します。こんなときは是非ご相談ください。

- 経営改善 ● 新事業分野進出 ● 経営計画・戦略見直し ● ホームページ作成・改善 ● 広告チラシ見直し ● 税務・会計 ● 事業承継 ● 許認可 など
- **例えば製造業・建設業なら...** ● 品質管理・生産管理 ● 生産工程の改善 ● 作業改善・生産効率向上 ● 労務改善・就業規則作成 ● 現場改善小集団活動導入 ● ISOマネジメント導入 ● 販路開拓 ● デザイン(製品・企業ロゴ) ● 知的財産権 など
- **小売業・サービス業なら.....** ● 経営計画 ● 店舗改装 ● 店舗レイアウト改善 ● 商品ディスプレイ改善 ● 商品構成見直し ● 販売促進策(チラシ・ショップカード・売出企画) ● POP技術 ● ラッピング技術 ● デザイン(商品パッケージ・包装紙・看板) ● 顧客管理 ● 接客技術 ● 新メニュー開発 など

## ① 費用

費用については、専門家の派遣に係る謝金の5分の1が自己負担となります。また、支援の際に必要な材料等は、支援を受ける企業の自己負担となります。

## ② 対象は創業予定者および中小企業者等です

創業予定者および中小企業者等が抱える様々な経営課題に対応いたします。

## ③ 専門家が直接お伺いしてアドバイス・支援にあたります

現場の状況を把握し、的確なアドバイスをいたします。

## ④ 一流の専門家を登録しています

専門家は各分野で長い経験と実績を持ち、的確に中小企業者等のニーズに対応できる人材ばかりです。

▶ 制度についてのお問い合わせ、お申し込みは、お近くの商工会へ

# マル経融資が使いやすくなりました。

News Clip

## (小規模事業者経営改善資金融資制度)

→ マル経融資制度は、経営改善を図ろうとする小規模事業者の方々をバックアップするため、無担保・無保証人・低利で融資する制度です。

## マル経融資制度の特徴

### 融資限度額は?

1,000万円 → **1,500万円に拡充**

### 担保・保証人は?

**不要です** ※ 本人保証も不要です

### 返済期間は?

○ 運転資金5年以内(据置期間6ヶ月)

→ **運転資金7年以内(据置期間1年)**

○ 設備資金7年以内(据置期間6ヶ月)

→ **設備資金10年以内(据置期間2年)**

\*利率は平成24年5月現在で1.75% ※利率は変動しますので最寄りの商工会へお問い合わせ下さい。

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の商工会の福祉共済

# 商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

## 「けが」の補償

満6歳～80歳\*1

けがによる死亡・後遺障害、入院、手術、通院を補償します



## 「病気」の補償

満6歳～74歳\*2

疾病による入院、手術等を補償します\*



**なっとく** → 福祉共済は月額**2,000円**～の手頃な掛金!

**あんしん** → 年齢・性別・職種に関わりなく掛金が**一律!**

**さらに** → **天災と先進医療も補償!!**

\*1.継続加入は満85歳まで \*2.継続加入は満80歳まで ※「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込み頂けます。 ※プランによって掛金が異なります。



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。